

# 平成10年度試験研究成果

区分	指導	題名	りんどう栄養系鉢物品種の作型及び開花調節法									
〔要約〕栄養系鉢物りんどうは、親株を1月下旬から加温することにより発生した茎を用いて、3月下旬に挿し木を行い、8～9月に出荷する1年苗利用作型と自然条件で管理した親株を5月下旬に挿し木、1年間養成し、翌春に鉢上げを行って商品化を図る2年苗利用作型の2つの方法が可能である。また、1年苗利用作型では、摘心処理で5～10日程度、穂冷蔵、苗冷蔵処理で20～40日程度の開花調節が可能である。												
キーワード	こりん	1年苗利用	2年苗利用	園芸畑作部 花き研究室								

## 1. 背景とねらい

「あおこりん」「ももこりん」は県初の栄養系品種として、現在、登録申請中である。従来は、種子系の「いわて乙女」の栽培で産地形成が行われてきた背景もあり、栄養系品種の栽培に関する知見はほとんどない。そこで、基本となる作型及び開花調節技術について検討を行った。

## 2. 技術の内容

### 1) 作型図(ももこりん)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
<b>1年苗利用作型</b>												
無摘心	—	—	—	—	—	—	—	—				
1回摘心	—	—	—	—	—	—	—	—				
2回摘心	—	—	—	—	—	—	—	—				
穂冷蔵	—	—	—	—	—	—	—	—				
苗冷蔵	—	—	—	—	—	—	—	—				
<b>2年苗利用作型</b>												
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

— : 親株加温      : 挿し木      : 鉢上げ      : 摘心      穂冷蔵、苗冷蔵      : 出荷  
 ——— : 親株養成      - - - - - : 冷蔵処理

### 1年苗利用作型

- 親株を冬期から加温するため、無摘心栽培では8月上旬から開花する。(表1)
- あおこりんの方が生育は旺盛であるが、両品種とも概ね2.5～3号ポット仕立てに適する。
- 摘心処理効果：開花を5～10日程度遅らせることができる。また、無摘心では立性の草姿となるが、摘心を行うことにより二次分枝、三次分枝が増加し、半球状の草姿となる。(表1)
- 穂冷蔵及び苗冷蔵：穂冷蔵によって20～25日程度、苗冷蔵によって25～40日程度開花を遅らせることができる。品質については、無冷蔵区に比べて着花輪数が減る傾向が見られるが、同程度のボリュームは確保できる。(表2)

### 2年苗利用作型

- 開花期は自然開花期と同じである。1年苗利用作型に比べ、輪数やボリュームの確保が容易であり、3.5～4号鉢仕立てに適する。(表3)

## 3. 指導上の留意事項

- 直接発根順化法により得られた苗を1年間養成し、次年度以降の採穂用親株とする。
- 養成した親株は、1月下旬に最低夜温10℃を確保したハウス内に搬入し、3月下旬に挿し木を行う。親株の加温温度が高いと早期に花芽分化し、ボリュームの確保が難しくなることから10℃以上にはしない。また、日中は25℃を目安に換気を行う。
- 挿し穂は8節まで生育した茎を用い、頂部から2節毎に4節まで切り出す。200穴程度のセルトレイを用いるが、下の節の葉は除去し、培土内に埋め込む。1ヶ月程度で発根するので、田土、鹿沼土、ピートモスの5:3:2混合土などを用いて鉢上げを行う。
- 摘心は2～3節程度残して芽の先端を摘む程度とするが、時期が遅くなると著しく品質が低下するので、7月上旬以降は行わないようにする。
- 穂冷蔵及び苗冷蔵は、1～2℃暗黒条件下で1ヶ月程度行うが、穂及び苗はビニル袋などに入れて、寒風が直接当たらないようにする。
- 2年苗利用作型では親株は自然状態で管理を行い、98穴程度の大きめのセルに5月下旬に挿し木を行い、晩秋まで養成を行う。冬期間は露地で越冬させ、翌春に仕上げの鉢上げを行う。

## 4. 技術の適応地帯

県下全域

## 5. 当該事項に係る試験研究課題

- 3-1-(1)-ウ-(ア) りんどうの高品質安定生産技術の開発  
 b りんどうの栄養系品種の高品質安定生産技術及び不時出荷技術の開発

## 6. 参考文献・資料

平成7～9年度 花き関係試験成績書 岩手園試野菜花き部

7. 試験成績の概要 (具体的なデータ)

表1 1年苗利用作型における摘心効果 (平成10年度)

品種名	挿し木 時期	挿し木 部位	摘心 <sup>1)</sup>		開花期 (月・半旬)	草高 (cm)	有効 花蕾数 (輪/株)	一 次 分枝数	二 次 分枝数	三 次 分枝数	ポリューム <sup>2)</sup>
			有	無							
あおこりん	3月下	天挿し	無	8.2	18.5	35.7	9.3	10.0	0.7	3.3	
			1回	8.4	16.0	40.7	7.3	15.7	0.3	4.0	
	"	管挿し	2回	8.4	14.5	38.6	5.5	12.5	9.2	4.8	
			無	8.3	17.7	31.4	6.8	7.8	2.8	3.4	
			1回	8.4	15.9	35.0	6.0	10.0	4.3	3.7	
			2回	8.5	14.7	37.6	6.8	10.7	6.7	4.3	
ももこりん	3月下	天挿し	無	8.1	16.1	40.5	8.5	3.0	0.0	3.0	
			1回	8.2	11.4	37.5	8.2	12.0	1.0	3.3	
	"	管挿し	2回	8.3	11.9	37.3	7.6	14.7	7.5	4.1	
			無	8.2	11.3	22.3	5.0	4.3	0.0	2.3	
			1回	8.3	12.5	29.5	4.8	10.5	2.5	3.3	
			2回	8.4	11.7	32.9	4.7	10.2	7.6	3.3	

備考: 1) 1回目の摘心は5月20日、2回目の摘心は6月25日

2) 3号鉢に対するポリューム: 指数評価 1~5 (小~大)

培土: 田土: 鹿沼土: ピートモス = 5:3:2 + CDU 2g/l、苦土重硝磷 1g/l

表2 穂冷蔵、苗冷蔵の効果 (平成10年度)

品種名	挿し木 時期	挿し木 部位	冷 蔵		開花期 (月・半旬)	草高 (cm)	有効 花蕾数 (輪/株)	一 次 分枝数	二 次 分枝数	三 次 分枝数	ポリューム <sup>2)</sup>
			有	無							
あおこりん	3月下	天挿し	無	8.2	18.5	35.7	9.3	10.0	0.7	3.3	
			穂冷蔵	9.1	15.6	27.5	9.3	11.7	1.2	3.8	
	"	管挿し	苗冷蔵	9.5	20.2	22.0	9.8	8.2	0.0	3.7	
			無	8.3	17.7	31.4	6.8	7.8	2.8	3.4	
			穂冷蔵	9.1	16.0	22.0	7.4	7.0	1.8	3.4	
			苗冷蔵	9.5	18.8	21.4	9.0	6.0	0.4	3.5	
ももこりん	3月下	天挿し	無	8.1	16.1	40.5	8.5	3.0	0.0	3.0	
			穂冷蔵	9.2	12.4	28.1	10.0	10.4	0.0	3.1	
	"	管挿し	苗冷蔵	9.2	15.4	21.3	8.5	6.5	0.0	3.1	
			無	8.2	11.3	22.3	5.0	4.3	0.0	2.3	
			穂冷蔵	9.2	10.3	21.8	6.8	8.2	1.4	2.5	
			苗冷蔵	9.2	14.2	20.0	7.3	8.5	0.3	2.8	

備考: 2) 3号鉢に対するポリューム: 指数評価 1~5 (小~大)

表3 2年苗利用作型における品質 (平成10年度)

品 種 名	開花期 (月・半旬)	草 高 (cm)	立茎数 (本)	茎 径 (mm)	有 効 花蕾数 (輪/株)	一 次 分枝数	二 次 分枝数	節 数	ポリューム <sup>3)</sup>
あおこりん	9.5	18.9	3.0	2.2	59.4	10.2	5.5	13.8	3.9
ももこりん	9.3	16.1	2.7	2.0	60.8	10.1	4.0	12.3	3.2

備考: 3) 4号鉢に対するポリューム: 指数評価 1~5 (小~大)